

記載例

労働生産性の向上により達成する目標及び目標設定の考え方

<労働投入量> ※前年同期の期間：令和8年1月1日～令和8年1月31日 (1ヶ月)

業務名など※	効果測定期間中の労働投入量			前年同期の投入量			削減量
	投入量 (人・h)	人数 (人)	時間数 (h)	投入量 (人・h)	人数 (人)	時間数 (h)	
管理部門	54	3	18	180	3	60	126

※「業務名など」は、誰もが働きやすい職場づくりコース③の対策の内容に応じて、対象となる部門、作業、事業所全体など適宜設定してください。

<目標（効果測定）値及び効果>

改善事項	単位	効果測定期間中の 目標値（効果測定値）			前年同期の数値			1人当たり効果
		効果測定 期間の 目標値	対象者数 (人)	1人 当たり	期間中の 数値	対象者数 (人)	1人 当たり	実数
長時間労働の削減 (所定外労働時間数)	時間	24	3	8	126	3	42	34
有給休暇の取得促進 (有給休暇取得日数)	日							
その他 ()								

<改善目標>
 ・長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進といった、仕事と生活の両立につながる指標と数値目標を設定してください。
 <目標設定の考え方>
 <取組の範囲>や<目標値及び効果>における数値の設定の考え方について、以下の点に留意してください。
 ・多様な働き方推進事業における課題の状況を踏まえ、どのように取組の範囲（部門、作業、事業所全体）や改善事項を設定したのかの経緯
 ・導入する機器等により、どのように労働生産性が向上し、上記の課題への改善効果が生じるのか。
 ・上記の効果により、どのように上記改善事項の指標が改善するのか。

<目標設定の考え方>

<改善目標>

対象労働者3名について

○管理部門の所定外労働時間数を24時間に削減

<目標設定>

○ネットショップの定型業務で、毎日、メーカーから納品される商品をネットショップのネット販売システムに1日3回アップロードする作業と、受注メールの仕分け、受注管理表への転記について、手作業で電話の問合せ対応の合間に行っており、所定時間外労働が毎日長時間発生していました。

○そこで、上記の定型作業をRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）により、作業工程をロボットによる自動処理に置き換えることにより、作業時間の短縮など業務の効率化を図ります。

○RPAの導入により、上記作業の担当者の作業時間の短縮するとともに、メインとなる電話問合せ対応業務に集中できることで、管理部門全体で労働投入量の大幅削減を図ることで、所定外労働時間を削減します。

○RPAの導入により効果測定期間中の労働投入量を126時間削減（一人当たり42時間削減）する。

<対象者氏名>

○○ ○○	△△ △△	□□ □□	
-------	-------	-------	--

<合計>

3名

※このページは、交付申請時には記入不要です。

<達成値及び効果> ※実績報告書提出時のみ記入

改善事項	単位	効果測定期間中の達成値			効果測定期間中の目標値		
		達成値	対象者数(人)	1人当たり	目標値	対象者数(人)	1人当たり
長時間労働の削減 (所定外労働時間数)	時間	12	3	4	24	3	8
有給休暇の取得促進 (有給休暇取得日数)	日						
(その他)							

<達成状況> ※実績報告書提出時のみ記入

<p>・RPAの導入により、生産性が向上した結果、ネットへのアップロード作業が1日あたり90分程度短縮し、また、受信メールの仕分け、帳簿への転記作業が50分程度短縮した。今ではこうした定型業務が1日あたり40分程度で終了し、電話問合せ対応業務に集中できるようになった。</p> <p>・このため、管理部門の対象労働者3名の効果測定期間中における所定外労働時間数は前年度の126時間から本年度は12時間にまで大幅に短縮を実現し、当初目標を上回る実績を達成した。</p>

※取組実施による達成状況について、数値、従業員アンケート等などを実施するなどにより具体的に記載ください。(取組月の前年同月又は前月の状況についても記載ください。)。また、目標未達成の場合は、その理由及び今後の改善計画も含めて記載してください。